山行報告　９月１３日（土）～１５日（月）

南アルプス小仙丈沢～仙丈岳(１３日)・甲斐駒ケ岳(１４日)

参加者　Ｓ・Ｉ、Ａ・Ｔ、Ｉ・Ｏ、Ｋ・Ｏ（記）

１２日夜に車で出発、伊賀ＳＡで車を乗り換え、戸台口に２時半に到着、仮眠を取る。１３日朝の一番バスは６時発であるが、人が多いので、５時前からバス運行のアナウンスが流れる。こちらもできるだけ早く北沢峠まで行き、バスの乗り換え時間を利用して、デポ荷物の仕分けすることに決める。北沢峠着６：２０発７：２０、野呂川出会着７：３５。ここから林道を２０分ほど歩くと小仙丈沢出会いに着いた。

林道歩き約２０分

入渓準備・出発８：２０

快適な登り

Ｆ１左から入るルンゼを登る

Ｆ２

Ｆ２中間部

Ｆ２中間部からは右の涸れ滝を岩登り

快適な登りが続く

沢自体は、ほとんどの滝をロープなしで快適に登ることができる。Ｆ２の出口で念のため補助ロープを固定したぐらいであった。沢は開けており、踏み跡もしっかりついていた。Ｆ２を過ぎると、水も少なくなり、源流部を経てカールに達した。

源流部で見つけたお花

源流部のカール・仙丈岳を望む

縦走路から小仙丈岳を望む

源流部のカールは自然が荒れることなく残っており、穂高の涸沢カールの悲惨な状況に比べ、心安らぐ風景であった。

カールからは向かって左の草付きとザレ場を詰めあがり、小屋へ向かう道とと頂上に向かう道の分岐点に出た。

上空はどんよりとした曇り空であるが雨は落ちそうにない。

頂上に１３時２５分到着。時間もたっぷりあるので、記念撮影をしたり、風景を眺めたりしてぼんやりと過ごした。ここからは携帯電話が通じたので、K･Nさん、Sクラブの I さんにメールを発信した。

頂上出発１４時０５分

北沢峠着１６時４０分

左写真：頂上にて記念撮影

左写真：バス待ちの混雑

甲斐駒ケ岳(１４日)往復

　明け方は小雨が降っており天気を心配しながら出発。しかし途中がら天気回復、暑い晴天となった。北沢峠からはツアーの団体も多く、縦走路は混雑極まりない。帰路は摩利支天に寄り、赤石沢奥壁を覗いてから帰った。

テント場６：４０発、駒津峰９：００、頂上１０：３０、摩利支天１１：３０、双児山１３：３０、北沢峠１４：４５

仙水峠

甲斐駒ケ岳頂上

摩利支天頂上

双児山　１３：３０

北沢峠キャンプ場にて

１５日は朝からテントを撤収し、午前７時２０分の一番バスで戸台口に降りる。
高遠温泉で入浴するには時間が早すぎるので、高遠城址の見学に行って時間を潰した。後は入浴して帰った。

高遠城址公園